

令和2(2020)年度

高等学校における教科指導充実に関する調査研究
～資質・能力の育成を図る授業改善の推進～

と い は い と
問いは意図

～教師の意図ある働きかけで生徒の学びを深める～

何をねらって
その「問い」を発しますか？

外国語科



外国語科(英語)

本事例で育成を目指す資質・能力

外国語によるコミュニケーション能力

事例 概要

教師からの「問い」によって、生徒は、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えることができるようになります。また、「問い」を発展させながら活動を設定することで生徒の学びを深めます。

科目:コミュニケーション英語Ⅰ

題材:ベネズエラ独自の音楽教育について

Children are carrying musical instruments on the street. This is a familiar sight every afternoon in towns all over Venezuela. They are heading to their music lessons after regular school hours. There are 180 music schools across the country and 350,000 children receive a classical music education for free. Many of them practice six days a week and take part in an orchestra or a chorus.

This educational program is commonly known as El Sistema. It was started in 1975 by Dr. José Antonio Abreu. He is a musician and economist who once served as Venezuela's Minister of Culture. During its history of more than 40 years, El Sistema has produced many excellent musicians, and some of them have become known internationally.

Producing professional musicians is not, however, the main goal of El Sistema. Its mission is simply to give children the chance to lead better lives by using the power of music. "The richness provided by music can beat down poverty," says Dr. Abreu.

(一部抜粋)

本文全体はこちらに掲載



導入

題材に興味・関心をもつ。

興味・関心

学習意欲を高めるために身近な話題から「問い」を発し、生徒が考え、話し出せる状況を設定する。

What encourages you when you are tired?
What countries are there in South America?
What do you know about Venezuela?

徐々に題材に関連した話題へ近付ける。

内容理解

全体概要を確認してから細部の内容理解へ。

英文の難易度によっては、パートごとに概要把握を行う。

What is the topic of this passage?
What is the key word or the key sentence of this passage?

新聞・雑誌・ネット上の記事等に目を通す時は、おおよそどのようなこと（必要な情報）が書かれているかを素早く把握する読み方を実践することが多い。授業時においても、スキミングやスキニングで情報を抜き取らせる問いかけと精読を促す問いかけを組み合わせることで、総合的な読解力を身に付けさせる工夫が大切である。

習得・活用

理解の深化

振り返りをしながら、題材のトピックやキーワードを確認することで確実な内容理解へつなげる。

生徒が英語を使う時間をできる限り多く設定する。

What do you remember about this passage?
Do you know any other example like El Sistema?
Do you think this kind of educational program is needed in Japan, too?

題材を身近なことと関連させる「問い」で題材主題の本質に迫る。

発展活動

ディベートやディスカッション等を通して思考・探究する場面を設定する。

ディベート論題

言語を用いて「何ができるか」という観点を意識した言語活動を設定する。

All the schools in Japan should adopt an educational system like El Sistema.

活用・探究

論題の設定は教師が行うが、ディベート活動の中では生徒が「問い」を立てることになり、自身の主張に対する理由付け等で思考を繰り返す場となる。

本事例での問いの意図

海外が舞台の題材であるため、国際的な視野を広める良い機会とすることができます。「内容理解」の段階では、生徒が無理なく概要や要点を把握できるように、必要な情報を捉える作業を促す「問い」を繰り返しました。

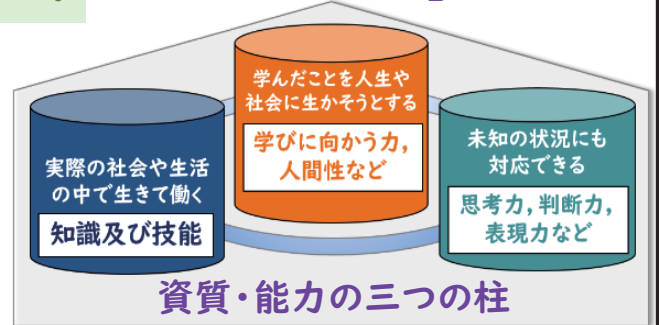
また、Do you know ~?やDo you think ~?等の「問い」を通して、生徒が外国の出来事を、自国の状況と関連付けて考えることで、「他人事」が「自分事」になり、理解が深まることを目指しました。

そして、「発展活動」では、生徒の発信能力を高めるために、ディベート（言語活動）を設定しました。これら一連の学習を英語で実践することで、「外国語によるコミュニケーション能力」の育成が図れます。

これからの時代に求められるのは？

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善により、変化の激しい社会の中で、生きて働く資質・能力を育成すること。

「生きる力」

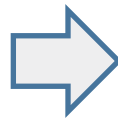


なぜ「問い」に着目するのか？

学習指導における教師の大切な役割は、生徒の興味・関心を引き出し、思考を促すこと。

その鍵となるものが

「問い」



主体的・対話的で深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、「深い学び」を実現させるために

様々な切り口の「問い」を組み合わせ、問いかける順序やタイミングも考えて、一連の「問い」を構成する。

意図ある問いが学びを深める

生徒

- ・学ぶことに興味を向け、新しい知識や技能を得る。
- ・学んだことを基に思考し、自分の考えの質を高める。
- ・気づきや発見から、探究心が育ち、新たな学びに向かう。

教師

- ・単元や題材を広い視点で捉えた授業の工夫につながる。
- ・生徒が主体となる授業を展開できる。
- ・単元や題材の本質に迫る授業を実現できる。

各教科等において目指す資質・能力を高める

高等学校に求められていること

生徒一人一人に社会で求められる資質・能力を育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出すこと。